

削減目標設定方法(案)

すう勢ケース：現行の政策を維持し、これまでの効率改善の延長線上で努力を継続するケース
 変化ケース：「炭素への価格付け」によって社会経済における日々の暮らしやものづくりの活動量が変化することを前提条件としたケース
 固定ケース：粗鋼生産量等、産業部門の活動量を固定し、その他の活動量は変化することを前提条件としたケース

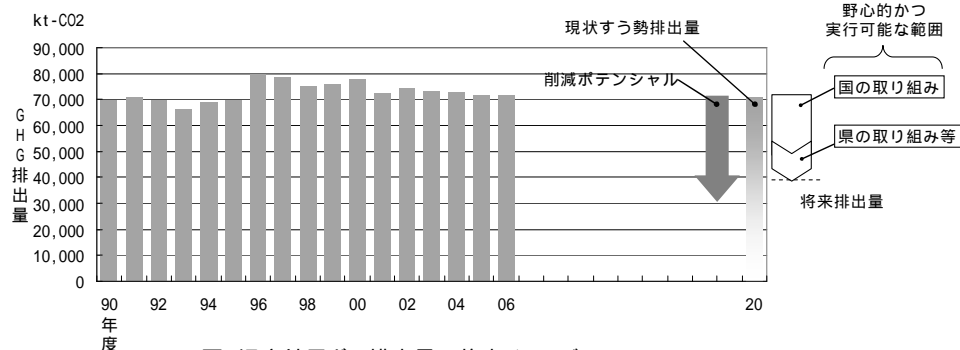
国 (kt - CO ₂ / 年)		1990年度 実績	2005年度 実績	2006年度 実績
I ね 起 CO ₂	産業部門	482,000	456,000	457,000
	民生部門(業務系)	164,000	237,000	235,000
	民生部門(家庭系)	127,000	174,000	166,000
	運輸部門	217,000	257,000	251,000
	エネルギー転換部門	68,000	79,000	77,000
	小計	1,059,000	1,203,000	1,186,000
非エネルギー部門	202,000	155,000	153,000	
合計		1,261,000	1,358,000	1,339,000
削減率(%)		-	7.7%	6.2%

2020年度		
すう勢ケース	全体マクロフレーム変化ケース	産業マクロフレーム固定ケース
451,000	374,000	385,000
270,000	133,000	120,000
181,000	90,000	81,000
228,000	153,000	158,000
79,000	42,000	41,000
1,209,000	792,000	785,000
188,000	154,000	158,000
1,398,000	946,000	943,000
10.9%	-25.0%	-25.2%

- 国対策メニュー
- 【産業部門】
次世代コークス炉、廃熱発電、熱供給発電の効率化 等
 - 【民生部門(業務系)】
建築物断熱化、高効率給湯器、設備の効率化 等
 - 【民生部門(家庭系)】
住宅断熱化、高効率給湯器、高効率家電、HEMS 等
 - 【運輸部門】
効率改善、次世代自動車(EV、HV、PHV、NGV) 等
 - 【エネルギー転換部門】
太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電 等
 - 【非エネルギー部門】
家畜排泄物管理、施肥量削減、廃棄物対策 等

国の削減見込量を兵庫県の排出構造に当てはめて計算

兵庫県 (kt - CO ₂ / 年)		1990年度 実績	2005年度 実績	2006年度 実績	2010年度 見込み	2020年度				(参考)		
CO ₂	産業部門	47,670	46,122	47,247	43,366 ~ 45,481	すう勢ケース	国対策削減見込量	対策後	+追加対策削減見込量	対策後	目標	削減ポテンシャル
	民生部門(業務系)	2,490	3,055	3,103	3,279	46,513						
	民生部門(家庭系)	5,991	7,835	7,252	7,279 ~ 7,372	3,478						
	運輸部門	8,613	9,177	8,815	8,088	7,286						
	廃棄物部門	1,910	919	833	1,718	7,561						
	エネルギー転換部門	1,566	2,030	1,718	699	684						
小計	68,240	69,138	68,968	64,428 ~ 66,637	1,718							
その他ガス	4,793	2,771	2,844	3,146	67,240							
合計	73,033	71,909	71,812	67,575 ~ 69,783	70,884							
削減率(%)	-	-1.5%	-1.7%	-9.0 ~ -4.6%	-2.9%							



- 県追加・上乗せ対策メニュー
- 【産業部門】
 - 【民生部門(業務系)】
 - 【民生部門(家庭系)】
 - 【運輸部門】
 - 【廃棄物部門】
 - 【エネルギー転換部門】
 - 【その他ガス】